



第2回専門家講演会 生み出す原動力学ぶ

第2回専門家講演会は1月13日、総合センターで町内外から約40人が参加し行われました。「新たなモノを生み出す原動力とは」と題して、西谷雷佐氏（たびすけ合同会社西谷代表）と千葉大貴氏（有）マイティー千葉重代表取締役）が講演。参加者たちは、時折うなずきながらメモを取っていました。聴講した上方桜咲さん（葛高1年・五日市）は「地域を押し付けるのではなく、相手が興味を持つことを企画することが大切。今後、ばず部の活動などに役立てたいです」と意欲を見せていました。



青森県のリンゴ農家の例を挙げ「当たり前」の日常に価値がある」と説明する西谷氏(円内)

模擬投票で意識高める 葛高3年選挙啓発授業

葛巻高校（上柿剛校長・生徒137人）は1月24日、選挙啓発授業を行い3年生40人が参加。選挙制度や投票すべき候補者の選び方など、クイズや解説で理解を深め主権者意識を高めました。実際の選挙広報を使い公約を比較しながら行った模擬投票では、受付から投・開票までを体験。投票用紙の配布を体験した冬澤実奈未さん（寺田）は「混雑の状況を見ながら配布しなければならず、会場の様子を把握する広い視野が必要だと感じました」と慎重に投票用紙を手渡していました。



実際の投票用紙や投票箱を使用し模擬投票の体験をする葛巻高校の生徒たち

スノーワンダーランド2018 ホームステイで絆深める

第18回くずまき高原牧場スノーワンダーランドの酪農ホームステイ報告会は1月11日、もく・木ドームで行われました。参加した子どもたちは、受け入れ先の家族や保護者らに酪農を体験して初めての感想を発表しました。今回初めて参加した大澤更ちゃん（小5・神戸市）は「子牛に名前を付けさせてもらって、その子牛を自分の牛としてお世話できたのが一番楽しかった。また来たいです！」とホームステイでの体験を振り返りはじける笑顔を見せていました。



受け入れ先の藤森雅美さん、敏子さん夫妻にホームステイの感想や感謝の言葉を伝える大澤更ちゃん

江小っ子発想豊かに プログラミング学習

1月15日、江刈小学校（金沢卓司校長・児童30人）では、2020年に小学校で必修化となるコンピュータのプログラミング学習を実施。盛岡情報ビジネス専門学校の先生と生徒を講師に迎え、4年生から6年生がプログラミングについて学びました。児童らは、動きを指示するパーツの組み合わせを変えながら変化を体験。楽しみながらプログラミングの仕組みを学習しました。角口羽音くん（5年）は「教えてもらいできるようになってうれしかった」と目を輝かせていました。



動きの指示が書かれたパーツの組み合わせを変えながら変化を体験する江刈小の児童たち

※プログラミングとは…コンピュータにさせたい動きを指示すること

明るい町づくりに一役 東北電力とユアテック

東北電力(株)盛岡営業所（須田欣也所長）と(株)ユアテック盛岡営業所（小山田一則所長）が1月16日、町長室を訪れ町にLED防犯灯10基と設置に係る工事一式を寄贈しました。鈴木町長は「継続した心温まる事業に取り組んでいただき感謝いたします。小中学生の通学路を中心に活用し、大切に使用させていただきます」とあいさつ。両社による防犯灯の寄贈は昭和43年から行われており、今回を含めこれまでに84基が町へ寄贈されています。



東北電力(株)盛岡営業所須田所長と(株)ユアテック盛岡営業所小山田所長から目録を受け取る鈴木町長